

～ウィズ便り～

令和5年9月号

賑やかな蝉の鳴き声が、秋祭りに向けて太鼓や笛を練習している音に変わり、そっと耳を傾けています。まだまだ暑さが厳しい日もありますが、気付けば空が暗くなる時間も早まり、季節は秋へと進んでいるのを感じます。

今月は防災月間です。8月は雨で甚大な被害が出ました。台風が来るたびに被害も大きくなっていく近年。いざという時の備えは万全ですか？備蓄品の期限、量を確認して、家族の皆様で今一度災害への意識を確認する機会を持ちましょう。

防災関連用品も各種取り扱っております



防災バッグ 30

¥4,378.- (税込)

ポータブルトイレ

¥11,880.- (税込)



介護の現場から・・・ シリーズ～介護すること、されること～

(35) 6メートルの手すり

私とKさんとの関わりは約2年前からになります。Kさんは当時43歳、仕事中に脳出血で倒れ緊急搬送。右半身麻痺と高次脳機能障害、言語障害が残り、リハビリ病院に入院されていました。はじめてお会いしたのは、退院前にご自宅の環境を確認するためにお伺いした時でした。Kさんとご家族、病院のリハビリの先生、ケアマネジャーを交えて、Kさんがご自宅で安全に暮らすことができるか、危険な箇所はないか、必要なものは何かを確認する場で、私も参加させていただきました。

当時のKさんは基本的に車いすで移動をされており、平坦な道で少しの距離であれば四点杖を使用して見守りと軽介助のもと歩行は可能でした。ただ、段差昇降に関しては手すりと介助がなければ困難な状態でした。病院では階段昇降の練習もされており、左手で手すりを持ち、介助により階段を昇り、階段を降りる際は、後ろ向きで左手に手すりを持ち、先に麻痺側の右足を一段おろし、同じ段に左足をおろすというように、介助の方に支えてもらいながらではありますが、一段一段ゆっくりと降りていくことは可能でした。

ご自宅に戻るにあたって一番の問題は玄関扉から敷地外までの長い階段でした。12段もある階段で、手すり等の掴まるどころもなく、別の入口もない為、その階段を通らないとご自宅に辿り着けない環境でした。退院前に自宅の住環境を確認した際に、屋外用の置き型手すりも持参し検討しましたが、当時のKさんの状態では土台がある事で麻痺側の足が滑ってしまい、安全に昇降できませんでした。その為、ご自宅に戻るには住宅改修での手すりの取り付けが必要不可欠でした。階段昇降時に左手でしっかりと持てるよう位置を確認し、図ると必要な手すりの長さはなんと6メートル。ここまで長い手すりは初めてでした。その他にも電動ベッドと車いす、四点杖をレンタルしていただく事になりました。

退院日は約20日後でしたが、介護保険制度を利用し、退院にあわせて無事手すりの取り付け工事と福祉用具の搬入が完了しました。長い階段を後ろ向きに降りなければいけない状況でしたが、支持する手すりを途切れることなく設置できたことで、無事ご自宅に戻ることが出来、ホッとしました。

Kさんは退院後しばらくしてから基礎体力づくりとリハビリの為、障がい者自立支援センターへの入所を選択されました。一年近くリハビリに専念され、見守り、軽介助のもと、四点杖ではなく一本杖で歩行が可能な状態にまで回復されご自宅に戻って来られました。ご自宅に戻られてからも、もっと歩けるように、もっとご自身の言葉で話せるように、ご自身でできることを増やせるようにと、介護保険では週3回のデイケアを利用しながらリハビリを続けておられます。



退院当初は手すりと介助がなければ昇降できなかった階段も、今では手すりごとご家族の見守りで昇降できるようになられ、Kさん自身の外出機会の向上や、ご家族の介護負担の軽減に繋がっている様です。ご入院中からご自宅で過ごされる事を強く希望されていたKさんでしたが、自立支援センターへご入所中も、週末はご自宅に戻って過ごすことができたのも、「6メートルの手すり」があることで、いつでも戻れる安心感が大きかったのではないかと思います。

Kさんはとても真面目で、また昔から親思いの方で、ご両親に迷惑をかけたくない、できる範囲で洗濯や洗い物などの家事を手伝っておられます。ご家族からも、手すりはとても助かっているといつもおっしゃっていただき、私の励みになっています。これからもKさんとご家族の生活を、福祉用具や環境整備を通して支援させていただきたいと思っております。

今回のテーマは「爪」についてです。爪は皮膚や髪と同じケラチンというたんぱく質でできています。成人の手の爪は、1日で約0.1mm伸び、半年から1年で全体が生え変わります。足の爪の伸びる速さは手の約半分と遅く、生え変わるのに1～2年かかります。爪を傷つけたり、爪の病気になるったりすると、きれいで健康な爪になるまでに長い時間がかかります。爪は指先の形を整えたり、感染を予防したりしています。爪があることで触覚が鋭くなるため、爪は感覚器の補助的な役割を果たしています。手の爪があることで細かい作業をするときに力の入れ方を微妙に調節できます。足の爪は体を支え、踏み込む力を強くする役割があります。

主に色の変化として、白色の爪は、貧血、肝臓や腎臓の病気などが疑われます。他にも黒色や赤褐色など爪の変化があれば、まずはお近くの皮膚科を受診することをお勧め致します。

正しい爪の切り方として、爪の長さは指先と同じくらいにそろえ、全体的な形は角に少し丸みのある四角形に整えるのが理想的です。このような形を「スクエアオフカット」といいます。このような形に整えるためには、爪切りで端から端までまっすぐに切った後、両端の角だけを少し落とすようにします。爪の先の白い部分（遊離縁）は残っていてかまいません。

爪を上手に切るためのポイントは3つあります。

1. 爪と刃の位置関係をしっかり確認しながら切る。まわりの皮膚をうっかり切ってしまうことのないよう気をつけましょう。
2. 刃先を使って少しずつ切るようにすること。一度に大きく切ろうとすると爪が思わぬ方向に割れてしまうことがあります。
3. 切り残した部分がないように、最後まできちんと切ること。切り残した爪はトゲのようにとがっていて、皮膚を傷つける原因になります。



理想的な爪の形
スクエアオフカット



マルホ株式会社HPより出典



貝印 ルーペ付きツメキリ (大口径)

定価1,210円 (税込)

- ・爪が大きく見えるルーペ付きの爪切り
- ・爪やすりはやすり掛けがなめらかで、形良く仕上がります
- ・切った爪が飛び散らないストッパーケース付き



国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition

～出展のお知らせ～

2023年で記念すべき50周年を迎える、H.C.R.国際福祉機器展が9月27日(水)～29日(金)まで、東京国際展示場「東京ビッグサイト」にて開催されます。

コロナ禍により、昨年のH.C.R.2022は、4年ぶりに東京ビックサイト東ホールで開催され、約9万人の方が来場されました。

今年もたくさんの企業・団体が出展し、ハンドメイドの自助具から最先端技術を活用した介護ロボット・福祉車両まで世界の福祉機器が展示されます。弊社も出展させていただきます。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。



ワンハンド爪切皿

定価7,150円 (税込)

- ・手先の細かい動きが困難な方、片手が不自由な方でも簡単に爪を切れます
- ・片手でその指の爪が切れる爪切り
手を乗せて下に押すだけで切れます



お問い合わせ先 お気軽にお問い合わせ下さい。

株式会社 ウィズ

ホームページ→



LINE公式アカウント→



オンラインショップ→



本社・吹田	〒564-0042	大阪府吹田市穂波町19-25	☎06-6310-6262
大阪西営業所	〒550-0014	大阪市西区北堀江4-17-13	☎06-6536-9970
旭区ショールーム	〒535-0013	大阪市旭区森小路2-2-13	☎06-6955-6400
東大阪センター	〒577-0012	東大阪市長田東3-2-2	☎06-6748-8688
東住吉営業所	〒546-0013	東住吉区湯里2-18-11-101	☎06-6707-0788
東京営業所	〒101-0032	東京都千代田区岩本町3-5-2-702	☎03-5821-8572
横浜営業所	〒232-0056	横浜市南区通町2-33-2-102	☎045-730-6255
京急上大岡店	〒233-8556	横浜市港南区上大岡西1-6-1-7階	☎045-848-7297